

# テキサス州議会議事堂構内 セルフガイドツアー

## 表

1888年建設の州議会議事堂と約89,000平方メートルの敷地は、テキサス州政府の中枢であり、テキサスのシンボルでもあります。四方を通りに囲まれた敷地は、街の住民にとっても観光客にとっても、議事堂の壮麗な外観を鑑賞するのに最適な憩いの場となっています。敷地は議事堂の東、南および西側に広がり、歴史を感じさせる鉄柵に囲まれています。議事堂の北側は、1993年に延長部が建設されたことでその景観が一新されました。

1995～96年にかけて議事堂構内の復元が行われ、1888～1915年当時の公園のような環境が再現されるとともに、防火設備、節水式かんがいシステム、照明、車椅子で利用できる歩道などの主要システムが新しくなりました。敷地について詳しくお知りになりたい方は、敷地に関する歴史を以下にご紹介していますのでご一読ください。その後セルフガイドツアーに従って構内をご見学ください。車椅子をご利用の方は、方向表示に従い、必要に応じてツアー経路の変更をお願いいたします。議事堂構内には説明用標識が点在しており、地図上に星印で示されています。

## 歴史

テキサス州議会議事堂の開所式は1888年5月16日、第20回特別州議会が閉会した翌日に行われました。議会では、新議事堂の建設により著しくダメージを受けた敷地を修復するため、土木技師を雇う旨の法令が可決されました。議事堂の建設による影響に加え、開所の7年前に焼失した旧議事堂の木の擁壁や階段が残されたままになっていたのです。技師として雇われたウィリアム・マンロー・ジョンソンは、花崗岩造りの新議事堂がコンGRESS通りに対して直角に位置していることを強調した造園計画を立てました。この計画には石で縁取られたカーブのある馬車道「グレートウォーク (Great Walk)」と、敷地を取り囲む石の土台と装飾が施された鉄柵が含まれていました。グレートウォークは黒と白のひし形模様が施された舗装道路で、道の両脇には木立が並びます。

アラモ砦の英雄たち (Heroes of the Alamo) を称える最初の記念碑が議事堂構内に建てられた1891年までには、ジョンソンの計画の主要部分はほぼ完成し、グレートウォークに加え、同じくひし形模様が施されたオーバルウォーク (楕円形の歩道) が議事堂を取り巻くように作られました。柵が建設され、繊細な飾りが施された門が敷地の四方すべてに設置されました。ボランティア消防士記念碑

(Volunteer Firemen Monument) が建てられた1896年までには、多くの木々や低木が構内に植えられました。

1900年代初め、公共建造物・敷地管理責任者チャールズ・ギルバートは議事堂構内に芝生やさまざまな木々、低木、花を植えました。1903年には南部連合兵士記念碑 (Confederate Soldiers Monument) が建てられ、1904年には2つのコンクリートの装飾用プールにそれぞれ鋳鉄製の噴水が作られました。1904年の管理責任者報告には、グレートウォークの東側、掘り抜き井戸があった場所に電灯がついた繊細な装飾の水飲み場を設置したときの様子が記録されています。井戸があった場所の周囲のコンクリート歩道を掘り起こす作業中、ギルバートは第二の井戸を発見しました。この井戸はグレートウォークの西側に設置されたもうひとつの水飲み場に水を引くために使われることになりました。西側の水飲み場の水は冷たく、東側の水は温かかったと言われています。グレートウォーク沿いと水飲み場のそばにはベンチが置かれ、議事堂を訪れる人がひと休みできるようになっています。

1906年ころには、2つの人口湖が敷地に加わりました。ひとつは外来種の植物が植えられた、噴水付きの小さな洞窟型の湖で、敷地の南東の一角に作られました。もうひとつは今でも残っている議事堂の西側のくぼみにあったとされ、ユリヤシダ、その他の低木や観賞用木に囲まれていたと考えられています。

1907年、構内の車両入口がすべて拡大され、「テリーのテキサス・レンジャー (Terry's Texas Rangers)」記念碑が建てられました。その1年後、切妻屋根の温室が構内東側の芝生の上に建てられ、州政府の建物や敷地に植える植物が育てられました。しかしこの建物は1925年の暴風雪で焼失しました。侵食防止のため敷地内に巡らされたコンクリート歩道は、1909年ころに完成しました。さらに1年後、北バージニア軍テキサス旅団であったフッド旅団記念碑 (Monument to Hood's Brigade) が献上されました。1915年の秋には、街灯がグレートウォークに沿って設置されました。

1915年以降は、主に記念碑が敷地内に加えられていきました。1915年以降に加わった記念碑のうち現存するものは、テキサス・カウボーイ (Texas Cowboy、1925年)、自由の女神のレプリカ (Statue of Liberty、1951年)、米西戦争の勇士を称えた「ハイカー」 (The Hiker、1951年)、第36歩兵部隊 (Veterans of the 36th Infantry、1959年)、第一次世界大戦の勇士 (Soldiers of World War I、1961年)、十戒 (Ten Commandments、1961年)、傷病退役軍人 (Disabled Veterans、1980年)、真珠湾の勇士 (Pearl Harbor Veterans、1989年)、テキサスの女性開拓者 (Texas Pioneer Woman、1998年)、テキサスの子どもたち (Tribute to Texas Children、1998年)、朝鮮戦争の勇士 (Korean War Veterans、1999年)、そしてテキサス州保安官 (Texas Peace Officers、1999年) です。

以前敷地の景観を構成していたもののうち、1915年以降除去されたものには人口湖、噴水、オリジナルの水飲み場、温室などがあります。東側にあった水飲み場には1920年代に新しい花崗岩の水飲み場が作られ、西側にあった水飲み場には1951年に自由の女神のレプリカが建てられました。また、1940年代に新しい温室が設置されましたが、その後テキサス州立墓地に移されました。

## セルフガイドツアー

セルフガイドツアーは、1856～57年に総合土地事務所（General Land Office）があった建物、現在の議事堂観光案内センターの西側にある説明用標識から始まります。そこから北西に向かって歩き、洞窟について説明している標識、不動産業者の噴水（Realtor's Fountain）、さらに丘を上って豪華な装飾が施された水飲み場へ進みます。ここには、オリジナルの水飲み場にあったもののうち復元されなかったものがひとつだけあります。それは鎖につながれた金属製のコップで、訪問者は皆そのコップを使って水を飲んでいたのでした。

テキサス州立図書館・公文書館の建物に向かってお進みください。芸術家ポンペオ・コッピエニ作のフッド旅団記念碑（1）、そして切妻屋根の温室があった場所を示す説明用標識が見えます。サム・ヒューストン・ビルのそばの歩行者用ゲートに向かって進み、柵の繊細な装飾をご覧ください。花崗岩の土台の上に立つ錬鉄および鋳鉄の柵は、オハイオ州のマス・フーズ・アンド・カンパニーが製造したものです。鉄製の門柱の土台の部分にご注目ください。ブランド名「Buckeye」（トチノキ、オハイオ州の州木）の印章が見えるでしょうか？

歩行者用ゲートを過ぎると、1928年に造られた花崗岩の水飲み場があります。1990年代に行われた敷地復元計画の際、この水飲み場は現在の場所に移されました。もうひとつの水飲み場は、車椅子をご利用の方のためのものです。テキサス州保安官記念碑（17）と傷病退役軍人記念碑（16）を過ぎて、議事堂の北側入口に向かってお進みください。花崗岩が東西の方向に置かれているのが見えるでしょうか？これは、最初の議事堂があったオリジナルの敷地の境界を示しています。柵の鉄の部分交換の代わりに、昔の境界線の花崗岩の部分のみを残して、新たに加わった敷地の北側の一画が隔離されないように配慮したのです。

南に向かって歩道とオーバルウォークを横切ると、貯水池のひとつにつながるハッチが見えます。貯水池の水はもともと、飲料、防火、議事堂内のエレベーターを動かす水力源として使われていました。次に議事堂の北側入口へ進み、そこから北方向をご覧ください。約50フィート（約15m）進み、花崗岩でできた小さな敷石まで来たら、レディ・バード・ジョンソン・テキサス州議会議事堂フラワーガーデン、地面から突き出ているガラスのパネルを過ぎて大きな円形の開口部までお進みください。そこは4階建てのオフィスビルと駐車場がある議事堂延長部のちょうど真上になります。円形の開口部はオープンエアの円形広間で、議事堂

内の円形広間によく似たデザインです。ガラスのパネルは延長部の天窓で、自然光がビル内に差し込むようになっています。

議事堂構内の北西の一面には7つの記念碑が並んでいます。オープンエアの円形広間から、ジョン・H・レーガン・ビルに向かって進み、朝鮮戦争記念碑（14）と第一次世界大戦の勇士記念碑（15）をご覧ください。次にオープンエアの円形広間の西側にある小さなビルまでお進みください。このビルのエレベーターから議事堂延長部へ降りることができます。エレベーターの南および北側には延長部からの非常用階段が4つあります。真珠湾の勇士記念碑（13）と自由の女神のレプリカ（12）を見たら、タイラー・ローズガーデンでひと休みして景観をお楽しみください。次に敷地の西側へ進み、リンダ・スー・ヘンリー作テキサスの女性開拓者記念碑（11）、ラリー・ラドキ作テキサスの子供たち記念碑（10）、そして十戒記念碑（9）をご覧ください。

もともと西側の人工湖があった場所にはテキサス州兵第36歩兵部隊記念碑（8）および米西戦争の勇士「ハイカー」記念碑（7）が建っています。歩道を横切り、丘を下ったところには、コンスタンス・ホイットニー・ウォレン作テキサス・カウボーイ記念碑（6）があります。再び丘を上り、議事堂の南側入口に向かってお進みください。ひとつ星が埋め込まれている丸いコンクリート台が見えます。西側の水飲み場がどのような形であったかを示す写真は未だ見つかっていません。いつか写真が発見され、レプリカがこの場所に設置されることを願って、この台が置かれているのです。

歩道を横切り、グレートウォークの議事堂の南側入口近くで立ち止まってみてください。南側入口の前には1836年に製造された、24ポンド（約11kg）榴弾砲が2つ置かれています。南側入口から kongress通りに向かって立つと、議事堂構内で最も古い区画が目の前に広がります。街灯とベンチは1990年代の復元計画時に当時の姿に再現されました。

敷地内最古の4つの記念碑、J. S. クラーク作アラモ砦の英雄たちの記念碑（2）、ポンペオ・コッピニー作テリーのテキサス・レンジャー記念碑（5）、フランク・テイチ作ボランティア消防士記念碑（4）、そしてポンペオ・コッピニーとフランク・テイチの合作による南部連合兵士記念碑（3）が、グレートウォークに立ち並ぶ木々に囲まれて建っています。アラモ砦の英雄たちの記念碑には、砦を守るために命を落としたテキサス兵たちの名前が刻まれ、南部連合兵士記念碑には北軍から離脱し、南部連合を形成した13の州の名前が記されています。またボランティア消防士記念碑には、殉職したボランティア消防士の名前が刻まれています。ベンジャミン・テリーが南北戦争の最中に集めた志願兵は、後に南部連合の第8テキサス騎馬隊となりました。

グレートウォークの中ほどまで進むと、2つの噴水があります。それぞれ楕円形の池の中に、ひとつには釣りをする少年、もうひとつにはユリの花の彫像があり

ます。議事堂の南側の敷地、今建っている場所から議事堂の入口までの間の区画は、1853年から1881年に焼失するまで最初の議事堂が建っていた場所です。そばにある3つの大砲にもご注目ください。一番北にあるのは1865年に製造されたもの、グレートウォークの両側に置かれている2つは1864年に製造された軽量12ポンド（約5.4kg）野砲です。

さらにグレートウォークを kongress通りに向かってお進みください。メインゲートまで来たら、議事堂の南側正面をご覧ください。テンプル・ヒューストン上院議員は、1888年5月の開所式で次のように述べました。「我々が後世に残せるものは、この堂々たる建築物（中略）、そして我々が文明に貢献したもののみである。（中略）少なくとも、我々は偉大な遺産を残したという誇りをもって人生の一幕を閉じることができる、（中略）我々が受け継いだものよりさらに立派な建築物という遺産を。」

デザイン テキサス大学オースティン校印刷サービスおよびデザインセンター  
(University of Texas at Austin, Printing Services & Design Center)

Copyright 1999 State Preservation Board, Austin, Texas